



悔しいこともありましたが、さまざまなチャレンジ、出会いを通して大きく翼を広げることができたと思います。

2022年度卒業生 小川 由姫さん (活水高等学校出身)からのメッセージ (株)JALスカイ 総合職に就職が内定しました。

2022年度卒業生は、ほかに、JAL、ANAのグランドスタッフや(株)ホークスタウンヒルトン福岡シーホークなどホスピタリティ業界に就職が内定しています！

あっという間に4年の時が過ぎ去り、卒業シーズンを迎えた今、これまで活水で過ごした日々が走馬灯のように思い出されます。4年間の中で新型コロナウイルスの影響により叶わなかった目標もありましたが、置かれた場所でさまざまなことにチャレンジし、さまざまな方と出会い、大きく翼を広げることができたと思っています。



大学1年次の時に異文化理解演習に参加し、アメリカのポートランドに行きました。

高校3年間を活水高校英語科で過ごした私はさらに英語力を磨きたいとの思いで活水女子大学国際文化学部英語学科に入学しました。高校時代に参加したオープンキャンパスで先輩方からお伺いした留学体験談やホスピタリティ&ツーリズム研究会での活動等に期待を覚え、ワクワクした気持ちで大学生活がスタートしたことを今でも鮮明に覚えています。いくつか留学方法がある中で私は正規留学を目標としていたため、大学1年次からIELTSなど資格の取得に励みました。留学計画や資格取得にあたって実感したことは**先生方・先輩方とのつながりが非常に深い**ということです。テキストはどのようなものがおすすつか、効率的な勉強方法は何か、渡航前の準備や留学先での過ごし方に関してたくさんのアドバイスをいただきました。そのサポートのおかげで無事にアメリカ留学への切符を手に入れました。

しかし手続きを進めていた途中、新型コロナウイルスが猛威を振るい、留学は延期、そして見送ることとなりました。留学へ向けての準備に励み、苦勞して掴んだものを諦めることはとても悔しかったですが現在思い返してみると、その悔しさがコロナ禍での様々な経験への大きなバネになったのだと思います。留学できない分、置かれた場所で英語学習に励もうと意気込み、努力を重ね、TOEICでは3年の終わりに**945点**を取得することができました。

授業でのビジネス英語の学び、また日常生活での英語の取入れが結果につながったのだと思います。満足のいく点数を取得でき、学長表彰までいただき、恐れ多いとともにこれまでの頑張りが報われたと実感しました。

そして大学の先生からお声掛けいただき、2020年・2021年には平和祈念式典に参列された駐日チュニジア大使様・ウズベキスタン大使様の随行業務に携わりました。なかなかできない経験の機会をお与えくださった先生に感謝の気持ちでいっぱいです。

また大学生活を語るうえで欠かすことができないのはサークル活動です。**ホスピタリティ&ツーリズム研究会**に所属し、空港・ホテル見学や企業研究など、様々なことに取り組みました。JAL様とご一緒させていただく機会もあり、ご提示いただいたお題に対する解決策をグループの仲間と熟考しました。何度もミーティングを重ね、無事にプレゼン発表を終えた際には達成感に満ち溢れました。このサークルでの経験や培った力は就職活動においても大きな支えになりました。

その他にも高校2年次から続けている**平和関連のボランティア活動**にも打ち込むことができました。平和関連行事におけるボランティアや小学生・中学生を対象とした出前講座。県外研修への参加や外国の若者と平和に関して考えるシンポジウムの運営など、数えきれないほどの活動を通じてたくさんの方と出会い、見聞を広めることができました。



平和大行進での風船配りのボランティアのようすです。



ホスピタリティ&ツーリズム研究会で、JAL様から提示された課題についてプレゼンを行いました。



2月に開催された若者による平和ネットワーク構築シンポジウムに参加し、司会をしました。



卒業式の日に、ゼミの先生や仲間と撮った写真です。

大学生活を振り返ってみると平坦な道のりではありませんでしたが、その時々で私のやりたい方向へと舵を取ることができたと思います。**様々な経験にあふれ、自身の引き出しをグッと増やすことができた4年間**であったと振り返ります。進路を考えていた高校時代の私に「活水を選んで間違いないよ」と伝えたいほどです。そして卒業後に関しては、学科を越えた先生方のサポートやこれまでの努力が実り、幼い頃から目標としていた**エアライン業界から内定**をいただきました。来春からは**成田国際空港**にて旅客サービス業務にあたります。新たな人生の航海がスタートするにあたって楽しみでありつつ、不安もあります。ですが活水で過ごした色濃い時間、支えてくださった家族や先生方への感謝を胸に日々新たなことを吸収し、精進していきたいと思っています。

英語と吹奏楽の両方で、
挑戦と努力を続けた
4年間でした！

2022年度卒業生 内田 美緒さん (九州産業大学付属九州高等学校出身)からのメッセージ (株)麻生に就職が内定しました。



大学の自由科目として履修させて
頂いていたアンサンブルの授業
で、4年間のお礼として後輩が
ケーキをくれました。

私は4年前「英語を話せるようになりたい」「レベルの高い環境で吹奏楽の活動を続けたい」という両方の夢を叶えることができる活水女子大学に魅力を感じ、期待を胸に入学しました。そんな私が、4年間活水女子大学英語学科に通う中で感じたことはたくさんの方に挑戦し、努力出来る環境であるということです。私自身、たくさんの方に挑戦を頂きましたが、1番印象に残っているのは、2年生の冬に夢であったマーチング留学をする為に、アメリカボストンのマーチングバンドチーム(Boston crusaders)のオーディションを受けたことです。オーディションを受けるまで、英語学科の先生方からの語学、精神面でのサポートはもちろん、他学科、吹奏楽部の先生方から演奏、技術面でもサポートをして頂きました。結果として合格することが出来たのですが、コロナウイルスの影響でアメリカに行くことが出来ず、マーチング留学の夢は叶いませんでした。しかし、オーディションを受ける過程やオーディションでの現地の方とのzoomやメールでの英語コミュニケーションは私の英語学習への意識を上げるきっかけになりました。

又、アメリカに行けなかったことで日本で出来ることを全力で頑張りたいという気持ちが大きくなり、ESSでのサークル活動、吹奏楽部での活動により一層力を入れて取り組みました。ESSの活動では、英会話の先生に週に一度実践的に使える英語力を身につけるためのレッスンを



マーチングフェスティバルでドラムメジャーとして指揮を取らせていただいた際に、インタビューを受けた時の写真です。

お願いし、学年関係なく成長できる環境づくりに努めました。もともと私自身、英語には苦手意識がありましたが、これらの経験をきっかけに英語を楽しみながら学ぶことが出来ました。卒業研究では、研究内容を英語で書き上げ、発表しました。英語での論文制作、発表は私にとってはかなり大きな挑戦で、部活との両立が難しく何度も心が折れそうになりましたが、同じゼミの仲間や先生方のサポートのお陰で最後までやり遂げることが

出来ました。吹奏楽部の活動では、吹奏楽コンクール全国大会への出場、マーチングコンテスト全国大会への出場、アンサンブルコンテスト九州大会への出場など様々な大会で結果を残すことが出来ました。吹奏楽部の活動でも成功と挫折を経験し、演奏技術だけでなく人間的にも成長することが出来ました。



アンサンブルコンテスト九州大会に参加しました。



アンサンブルコンテスト九州大会の帰りに、福岡空港の麻生150周年の看板を背景に撮った写真です。



吹奏楽部の演奏会でミュージカルを行った際、パン屋さんの役をした時の写真です。

就職活動においても、英語学習だけではなく様々なことに挑戦し努力を続けたことが評価され、第一志望の企業に就職することが出来ました。私は卒業後、株式会社麻生に就職します。活水女子大学は就職サポートも充実しており、他大学の学生より就職活動を早く始めることができ、内定も複数の企業からいただいた中で、麻生を選びました。「社会システム変革への貢献」という企業理念が、これまで環境や周りの変化を前向きに捉え、努力を続けてきた私自身の大学生活と重なり私の強みを生かせる強く感じました。

今の社会においても、現状に満足するのではなく、より良い未来を作りたいと思っているので、自分自身の成長が社会を変えていく原動力になると前向きに捉え、挑戦と努力を続けたいです。活水女子大学での学生生活は挑戦と努力でいっぱい4年間でした。そんな私の充実した大学生活は私を応援し、支えてくれた家族はもちろん、一緒に成長させてくれた仲間、サポートして下さった先生方のお陰です。今まで本当にありがとうございました。